

(わたしたち NYBOC)



新潟県青少年野球団体協議会の取組を知っていただくために



あなたのプレーを守りたい



イメージキャラクター
☆スター



「いいプレーには
自然と拍手がわく
グラウンドっていいよね
敵味方なく、ね!」

始めよう! 楽しもう! 続けよう!

新潟県青少年野球団体協議会は、
野球を通じた友情の育成と、スポーツ障がいの予防に取り組んでいます。

私も新潟県青少年野球団体協議会の活動を
応援しています!

北海道日本ハムファイターズSCO 稲葉 篤紀
(スポーツ・コミュニティ・オフィサー)



加盟団体

- 新潟県野球連盟
- (公財)新潟県体育協会 新潟県スポーツ少年団
- (公財)日本リトルリーグ野球協会 信越連盟新潟ブロック
- (一財)日本リトルシニア中学硬式野球協会 信越連盟新潟ブロック
- (公社)日本ポニーベースボール協会 関東連盟新潟ポニーベースボールクラブ
- (一社)全日本少年硬式野球連盟 北日本支部新潟ヤング
- 新潟県中学校体育連盟 軟式野球専門部
- 野球障害ケア新潟ネットワーク
- 新潟県高等学校野球連盟



新潟県青少年
野球団体協議会
Niigata Youth Baseball Organization Council

新潟県青少年野球団体協議会 (NYBOC) とは？

～私たちは野球を通じた青少年の健全な育成に取り組んでいます！～

新潟県青少年野球団体協議会（通称 NYBOC : Niigata Youth Baseball Organization Council の頭文字）は、青少年に関わる県内すべての野球団体が所属する全国唯一の組織であり、平成 23 年 11 月の設立以来、野球を通じた青少年の健全な育成のため、肩肘の障がい予防を中心に、様々な活動に取り組んでいます。

本協議会は野球のみに特化した取組だけを推進してはなりません。友情や思いやりの心など、小さい頃からスポーツを通じて大切なことをたくさん学ぶことにより、子どもたちの健やかな成長に寄与したいという願いを根底をもって活動しています。



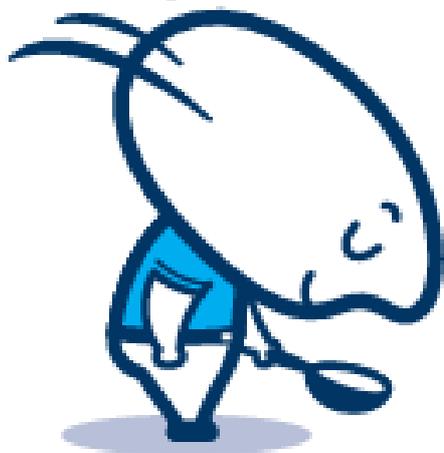
平成 27 年からは、本協議会の取組をいっそう推進させていくため、野球を取り巻く環境の変化に伴う現状と課題を踏まえ、「始めよう！楽しもう！続けよう！」をスローガンに、「野球を通じた友情の育成」と「スポーツ障がいの予防」の推進を目指し、新たなプロジェクトを立ち上げました。それが、「21C型穂波（ニイガタほなみ）プロジェクト」です。

この名称には、私たち NYBOC が目指す、野球というスポーツをとおして学びの場を提供し、21 世紀を生き抜く若者達の育成に努めることを目的とした体制づくりを、ここ新潟の地から発信していきたいという想いが込められています。

また、その学びをとおして築かれていく固は、越後の象徴である健やかに実り育った稲穂がやがて頭（こうべ）を垂れるように、感謝の心を忘れず常に謙虚な姿勢で学び続けること、そしてこのプロジェクトに関わった皆さん一人ひとりがこうした姿勢を持ち続け、その波が全国に伝播し、多くの仲間たちと友情の輪を広げ、相互協力して実りを迎える、そんな様をイメージしています。

新プロジェクトイメージキャラクター

マイ
☆ スター



命名者は板倉スポーツ少年団野球クラブ
小6 上野飛鳥くん です。

ニイガタほなみ 21C型穂波プロジェクト3つの柱

1 NIIGATA 野球サミット2016

新潟県内の小・中・高校生の野球指導者が一堂に会し、県野球界の課題や今後の活動及び目指す方向性を共有するとともに、各競技団体の壁を越えた指導者同士の親睦を深め、県内青少年野球の競技力の向上を図ることが目的。

- ※ 第1回 平成 28 年 1 月 30 日(土)朱鷺メッセ
- 第1部 講演会
講師:北海道日本ハムファイターズ 稲葉篤紀 様
- 第2部 新潟メソッド発表説明会
- 第3部 野球障がい防止研修会

2 新潟メソッドの作成

※ 3ページ参照

3 野球障がい予防検診と研修会の開催

現在行っている検診及び障がい防止研修を、県内の各地区で計画的に行うなど、より発展的に実施します。

表紙にもあるプロジェクトキャラクターの名前です。新潟のシンボルである「お米」とスター（星）がひとつになり、一人ひとりの選手（子ども）が未来の星であるということが感じられる親しみやすい名前となっています。また、ドイツ語でものづくりの熟練工の更に上の資格を持った人々を表す「マイスター」ということばの響きからは、指導者も保護者も野球をすることもたちにとって尊敬されるマイスターでありたいという想いや、こどもはチームや親にとっての「MYスター」であるという意味も感じることができます。

おいしいお米は一粒一粒が光り輝き、周りと協調しながらもしっかりと立っている。そんな野球人になってほしいという願いを込めてこの名前をつけました。



NYBOCキーワードより①

球場に敵はいません。相手チームと選手を支えてくれる人たちがいるだけです。

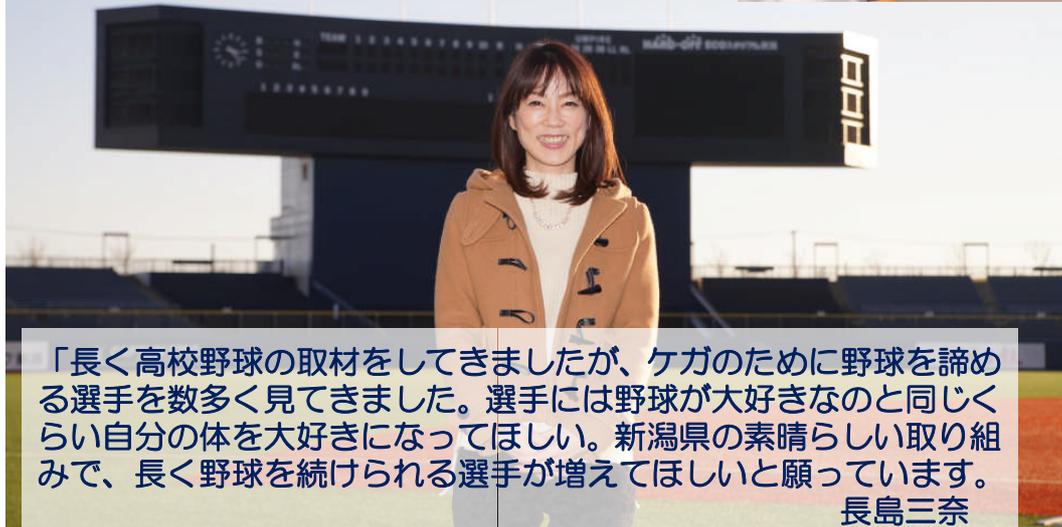


「熱投甲子園」元キャスターでおなじみの長島三奈さんが、当協議会 (NYBOC) の活動を視察に訪れてくれました。

NYBOCが主催する「ベースボールフェスタ2015」がハードオフエコスタジアムで行われ、スポーツ記者の長島三奈さんが私たちの活動主旨にご理解をいただき、忙しいスケジュールの合間を縫って活動の様子を視察に訪れてくれました。ひじ検診では興味深く医師の説明に耳を傾け、また参加した子どもたちと積極的にコミュニケーションを図るなど、精力的に活動され、会場の雰囲気もとても明るくなりました。

このイベントは加盟団体である野球障害ケア新潟ネットワークが中心となり、毎年行っているもので、超音波エコーによる野球ひじの無料検診のほか、コンディショニング教室、トレーニング教室、社会人野球チーム・バイタルネットや関甲新1部リーグ・新潟医療福祉大の協力による野球教室などが行われ、2日間で約900人の子どもたちが参加しました。

平成24年より、県内の小学校5年生から中学2年生までの野球少年たち全員に配付している野球手帳の効果もあり、参加数は年々増加しており、重篤な故障が見つかるケースは確実に減少してきています。



「長く高校野球の取材をしてきましたが、ケガのために野球を諦める選手を数多く見てきました。選手には野球が大好きなのと同じくらい自分の体を大好きになってほしい。新潟県の素晴らしい取り組みで、長く野球を続けられる選手が増えてほしいと願っています。
 長島三奈

野球ひじ検診等に持参する当協議会(NYBOC)作成の野球手帳。平成24年度運動器の十年・世界運動普及啓発推進事業の最高位「日本賞」を受賞しました。

にいがたほなみ
「21の型穂波プロジェクト」は、この方々にも応援していただいています！



女子ソフトボール元日本代表監督
 宇津木 妙子



日本テニス協会ナショナルチーム
 初代ゼネラルマネージャー
 小浦 猛志



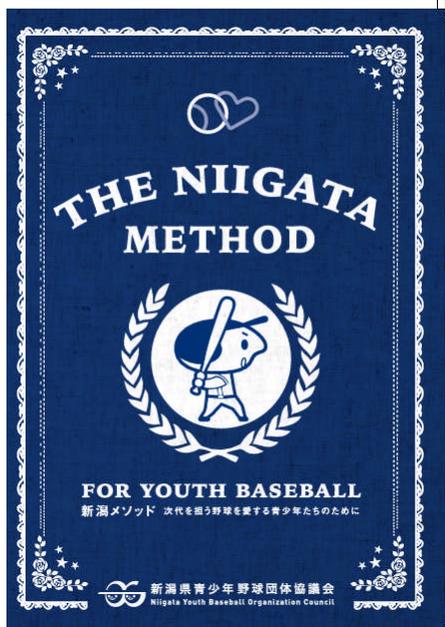
女子レスリングフリースタイル55kg級
 オリンピック3連覇中
 吉田 沙保里

NYBOCキーワードより②

いいプレーには、相手味方なく、自然と拍手がわくグラウンドを、みんなの手で作り上げよう！



「新潟メソッド」を作成しました！



「新潟メソッド」は加盟する全9団体の共通理解のもと、小学生から高校生までのすべての野球選手及び指導者が目指すべき野球の姿を一冊にまとめたものです。

現在の野球事情に危機感を持つと同時に、新潟の目指すスタイルとは何か、保護者の皆様が安心してお子様を預けられる環境づくりとは何か、それらを団体の垣根を越えて共有したい、そして野球を、スポーツの素晴らしさを次世代にも伝えていきたい、そういう思いから、この冊子を作成することとなりました。

この冊子に書いてあることは「規則」ではありません。全加盟団体で交わした「約束」なのです。

従って罰則を伴うものではありません。しかし、絵に描いた餅でもありません。

9団体が力を合わせればきっと実現できる。私たちはそう信じてこの冊子を作りました。

信用と信頼で成り立つ「新潟スタイル」を新潟から発信し、その実現に向け、一丸となって努力していきたいと考えています。

内容は、

- 1 保護者の皆様向けに、私たちが野球を通じて学んでほしいことを理解していただくための「始めよう！」
- 2 指導者及び選手が守るべき基本的なマナーをもっともっと好きになってもらうための「楽しもう！①マナー編」、
- 3 故障により野球をあきらめたり、苦しんだりする選手を一人でも減らし、好きな野球を思い切りやってもらうための「続けよう！②技術編」

の3部構成となっています。ぜひ一度手にとってご覧いただき、私たちの取組を理解していただきたいと思います。

※ 加盟団体すべてのチームに複数冊配付しています。保護者の方は、指導者に一声おかけください。

なお、購入希望等、冊子に関するお問い合わせは下記アドレスをお願いいたします。

新潟県青少年野球団体協議会 <nyboc@grace.ocn.ne.jp>

NYBOCキーワードより③
新潟県の青少年は、相手を尊重した、
積極的で、スピーディーな野球を
実践します！



野球をやったよかった、さらには「新潟で」野球をやったよかったと思える子どもたちが一人でも多く育ってくれることが私たちの願いです。私たちNYBOCは、これからも野球を通じて子どもたちの可能性を広げていけるよう、できる限りの支援を続けてまいります。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

作成 新潟県青少年野球団体協議会 (NYBOC)

協力 株式会社北海道日本ハムファイターズ 株式会社フレーム 石川竜太
新潟デザイン専門学校 渡邊響子 新潟野球ドットコム 岡田浩人

※ 本紙面の一部または全部の無断転載・無断転用を禁止します